

朝霞市地域福祉計画推進委員会
朝霞市地域福祉活動計画推進委員会
委員名簿

	団 体 等	氏 名
1	学識経験者	にし だ けい こ 西 田 恵 子
2	学識経験者	みや もと ゆう じ 宮 本 雄 司
3	あさか子育てネットワーク	お じま ま ち こ 小 島 真 知 子
4	地域包括支援センター (朝光苑)	たま しろ 玉 城 ア キ
5	社会福祉法人 愛隣館 (グループホーム つぐみ)	くり やま たか ゆき 栗 山 享 起
6	朝霞市地域防災アドバイザー	た はら 田 原 ひ と み
7	朝霞市傾聴ボランティア 「つばみの会」	た じり ふ み よ 田 尻 ニ 三 代
8	社会福祉法人ハレルヤ (特別養護老人ホームハレルヤ)	やま ぐち とも や 山 口 友 也
9	株式会社 GENKI INNOVATION COMPANY	なか むら とし や 中 村 敏 也
10	朝霞市民生委員児童委員協議会	と さ たか こ 土 佐 隆 子
11	朝霞市自治会連合会	なか むら か づ お 中 村 加 津 雄
12	朝霞地区シルバー人材センター	つつみ だ とし お 堤 田 俊 雄
13	朝霞地区保護司会朝霞支部	い と う ちか みつ 伊 藤 允 光
14	朝霞地区医師会	まち だ ゆたか 町 田 穰
15	公募市民	あら い つとむ 新 井 勉
16	公募市民	たけ だ みゆき 竹 田 幸
17	公募市民	よねくら な お み 米 倉 菜 穂 美

基本理念	基本目標	施策の方向性	指標・数値目標								施策の方向性ごとの評価
						現状値a	目標値b	実績値c	進捗状況c/b	評価	
			指標	担当課	単位	令和元年度	令和7年度	令和7年度末	%	A80%以上 B70%以上 C60%以上 D60%未満	
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【一】市民の暮らしを支える仕組みづくり	(1) 地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり	生活困窮に関する相談件数	地域共生社会課	件	563	600	955	159.2	A	相談全般において、複雑多様化したケースが増加しており、困難ケース等への組織横断的な対応力が求められている。令和8年度からは、重層的支援体制整備事業が開始することから、包括的相談体制を活用して実施していく。
			地域包括支援センターの数	地域共生社会課	か所	5	6	6	100.0	A	地域包括支援センターの数として、目標としている6か所整備できていることから、引き続き地域共生社会の実現に向けた仕組みづくりができています。
		(2) 相談支援体制の充実	福祉の総合相談件数	地域共生社会課	件	1,211	1,400	1187	84.8	A	8050問題など、複雑化・複合化した相談が増加している。また、ひきこもりに関する相談件数も増えており、生活困窮に関する相談と同じように、多機関にまたがる問題への対応力が求められている。
		(3) 保健医療・社会福祉サービスの充実	地域密着型サービス事業所数	介護保険課	か所	22	25	24	96.0	A	地域密着型サービス事業所数としては目標値に対して着実に進捗しているが、看護小規模多機能型居宅介護事業所については、応募者がなく指定事業所が決まっていない。
			がん検診受診率 (女性特有：子宮頸がん受診率)	健康づくり課	子宮頸がん(%)	15.2	50	14.4	28.8	D	各種検診は、市で実施するものだけでなく、稼働年齢世代は企業等での検診機会が得られるため、市の指標だけでは評価しきれないが、受診勧奨等に努めている。
			がん検診受診率 (女性特有：乳がん受診率)	健康づくり課	乳がん(%)	17.9	50	18.5	37.0	D	
			人口10万人当たりの自殺死亡率	健康づくり課	—	14.9	11.3	15.87	71.2	B	
		(4) 権利擁護の推進	成年後見市長申立て件数	障害福祉課	障害のある人(件)	3	4	4	100.0	A	成年後見市長申し立て件数は年々増加しており、担当課の対応力・対応スピードが求められている。
			成年後見市長申立て件数	地域共生社会課	高齢者(件)	6	10	8	80.0	A	
		(5) 生活困窮者等への支援の充実	生活困窮に関する相談件数(再掲)	地域共生社会課	件	563	600	955	159.2	A	相談全般において、複雑多様化したケースが増加しており、困難ケース等への組織横断的な対応力が求められている。令和8年度からは、重層的支援体制整備事業が開始することから、包括的相談体制を活用して実施していく。
			生活保護受給世帯の高校等進学率	生活援護課	%	90.9	100	60	60.0	C	令和7年度は高校等進学率100%とはならなかったが、生活困窮者学習支援事業等を活用しながら、進学率100%を目指していく。
			生活困窮等世帯の学習支援事業の利用者数	地域共生社会課	人	26	36	32	88.9	A	大学進学希望が増えており、一家庭への対応数が増加している。
		(6) 地域住民の交流の促進	第2層協議体の会議開催回数	地域共生社会課	回	60	72	66	91.7	A	開催日数・開催内容ともに充実した開催ができています。

基本理念	基本目標	施策の方向性	指標・数値目標								施策の方向性ごとの評価
						現状値a	目標値b	実績値c	進捗状況c/b	評価	
			指標	担当課	単位	令和元年度	令和7年度	令和7年度末	%	A80%以上 B70%以上 C60%以上 D60%未満	
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【2】思いやりと支え合いの心づくり	(7) 地域福祉に関する理解と参加の促進	ふれあいスポーツ大会の参加者数	障害福祉課	人	287	280	111	39.6	D	市民活動や課外活動の機会が増え、市民が活動する機会の提供を行っている。
			市民活動支援ステーションの延べ利用団体数	地域づくり支援課	団体	505	550	487	88.5	A	市民活動に関する情報の収集や発信、活動の相談や団体同士の交流促進などの場として、市民活動支援ステーションが活用され、豊かで活力ある地域社会の実現に向けて、市民活動が活性化している。
		(8) 支え合い・助け合いの気持ちの醸成	認知症サポーター養成講座参加者数	地域共生社会課	人	1,100	1,200	741	61.8	C	小中学校で開催することができたが、コロナ前の数字には戻っていないため、今後も参加者の増加を目指して活動していく。
			福祉教育の実施学校数	教育指導課	校	15	15	15	100.0	A	市内15校の全小中学校において、各教科や領域において横断的に思いやりや支え合いの心、助け合いの気持ちの醸成に取り組み、福祉教育の充実を図った。今後探究的な学びに繋がられるよう市内小中学校を支援していく。
		(9) 地域での見守りの充実	民生委員児童委員延べ活動日数	高齢者・地域福祉課	日	12,856	14,400	12166 (R8.2末時点)	84.5	A	民生委員の活動も制限がなくなり、訪問による相談も行えている。また、民生委員が相談を受けた内容を関係各課と連携し、対応する体制もより一層整えられ、ワンストップでの相談体制を実施している。配食サービスにより、高齢者の見守りを継続して行えている。
			高齢者配食サービスの延べ利用者数	高齢者・地域福祉課	人	3,044	3,350	2,312	69.0	C	
		(10) 情報共有・発信の充実	広報あさか配布部数	シティ・プロモーション課	部	66,303	69,800	70,500	101.0	A	全戸配布を行っており、人口増及び世帯数増に伴い増加傾向である。また、文章等の表現については世情を反映したうえで気を付ける。
			地域ケア会議（全体・圏域）の実施回数	地域共生社会課	回	31	44	36	81.8	A	外部アドバイザーから多角的な視点や新たな支援の選択肢が提供されており、ケアマネジャーの視点拡大と自立支援に向けたケアマネジメントの質の向上が図られている。
		(11) 地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成	シニアクラブ団体数	高齢者・地域福祉課	団体	24	25	20	80.0	A	市民交流の機会が損なわれることがないように支援を行っている。
			NPO法人数	地域づくり支援課	法人	47	60	49	81.7	A	地域活動の参加促進につながるようなセミナーや相談会などを実施する他、NPO法人の設立や事業実施の経費を一部助成するなど、市民活動の発展や参加促進を目的とする事業を実施することができた。

基本理念	基本目標	施策の方向性	指標・数値目標								施策の方向性ごとの評価
						現状値a	目標値b	実績値c	進捗状況c/b	評価	
			指標	担当課	単位	令和元年度	令和7年度	令和7年度末	%	A80%以上 B70%以上 C60%以上 D60%未満	
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【3】安心して暮らしやすい地域づくり	(12)施設等の整備・充実	公共施設におけるバリアフリー化項目の延べ整備数(項目:点字ブロック、スロープ、エレベーター、多目的トイレ、音声ガイド用スピーカー、車いす用駐車場、ローカウンター)	財産管理課	項目	192	197	216	109.6	A	公共施設におけるバリアフリー化はおおよそ達成されている。
		(13)防災対策の充実	メール配信サービスへの登録者数	シティ・プロモーション課	人	5,134	10,000	6,483	64.8	C	メールによる情報の取得ではなく、XやLINEなど各種SNSの需要が高まっていると思われる。
		(14)防犯対策の充実	警備員による青色防犯パトロールカーの運行	危機管理課	週／回	5	5	5	100.0	A	地域の防犯パトロールを行えている。
		(15)外出・移動の支援	福祉タクシー利用券、バス・鉄道共通ICカード及び自動車燃料費(いずれか1つを選択)の重度心身障害者利用者数	障害福祉課	人	2,392	2,500	2551	102.0	A	障害や高齢が理由により外出の機会が減少されないように、公共交通等の助成を行えている。
			高齢者バス・鉄道共通カード申請者数	高齢者・地域福祉課	人	14,664	17,000	16212 (R8.2末時点)	16212.0	A	高齢が理由により外出の機会が減少されないように、公共交通等の助成を行えている。
		(16)住まいの確保等への支援	住居確保給付金の支給件数	地域共生社会課	件	3	10	4	40.0	D	住居を喪失するおそれのある者等に対しては、住まいに関する相談を関係各課にて対応し、必要に応じて居住支援法人や関係課と連携を行っている。
			住宅に関する相談件数	地域共生社会課	件	—	30	29	96.7	A	令和8年度には居住支援相談に係る事務を地域共生社会課が行うことから、2つの事業における連携を図りながら支援を行っていく。
		(17)再犯防止の推進(再犯防止推進計画)	市内における刑法犯認知件数	高齢者・地域福祉課	件	924	831	969	116.6	A	駅前で更生保護の啓発活動である「社会を明るくする運動」を行い、中学生に対して啓発品の配付、当日の運動に中学生に参加をしてもらい、更生保護の周知を行うことができた。

基本理念	基本目標	施策の方向性	指標・数値目標							施策の方向性ごとの評価
					現状値a	目標値b	実績値c	進捗状況c/b	評価	
			指標	単位	令和元年度	令和7年度	令和7年度末	%	A80%以上 B70%以上 C60%以上 D60%未満	
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【一】市民の暮らしを支える仕組みづくり	(1) 地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり	各関係機関や各事業に関わる情報交換	件	69	100	155	155.0	A	高齢、障害、児童等の各分野において、多くの関係機関と相談支援に関する情報や、地域資源や課題などに関する情報等の共有を図り、連携することができた。 第5期計画に向け福祉圏域について検討を行うと共に、令和7年7月から配置したCSWを中心に、個別支援、地域の活動団体などへの支援を行った。
			身近な福祉圏域の検討	回	—	2	2	100.0	A	
		(2) 相談支援体制の充実	総合相談件数	件	23	30	36	120.0	A	相談者に対し適切な支援につなげられるよう、相談内容を傾聴し、情報提供や各関係機関につなぐことができた。来所が難しい相談者には訪問し話を聞くなど、状況に応じて対応を行い、相談体制の充実を推進することができた。
			ボランティア相談件数	件	78	100	140	140.0	A	
		(3) 保健医療・社会福祉サービスの充実	機関連携研修会の実施	回	—	1	4	400.0	A	市、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等の関係機関と連携し、各機関のニーズを踏まえた研修会を実施することで、専門性の向上を図った。 個々に社会福祉法人と連携を取っているが、社会福祉法人間のネットワークは構築できていないため、今後の連携体制について検討していく。
			社会福祉法人の連絡会議	回	—	1	0	0.0	D	
		(4) 権利擁護の推進	成年後見制度の講座開催	回	—	1	1	100.0	A	法人後見事業では、法人後見運営委員会での承認を経て2名の受任を行った。また、行政書士による成年後見等についての無料相談会を定期開催し、相談できる場を設けることができた。 また、社協の事業に携わっているボランティア等に、虐待の早期発見について周知を行い、権利擁護の推進を図ることができた。
			福祉サービス利用援助事業利用人数	人	11	15	12	80.0	A	
		(5) 生活困窮者等への支援の充実	生活困窮に関する相談件数	件	92	100	277	277.0	A	生活困窮に関する相談があった際、現在の生活状況をよく聞き取り生活福祉資金貸付だけではなく、家計の見直し、適切な資源（生活保護、住居確保給付金、他制度等）の情報提供を通して生活再建できるよう支援した。 また、県社協と共催で生活困りごと相談会を実施し、生活困窮者への支援を図ることができた。
			子ども対象団体への支援	回	5	10	16	160.0	A	
		(6) 地域住民の交流の促進	地域住民の交流事業	回	72	100	94	94.0	A	各施設において地域住民が参加できる事業を企画し、参加者が交流できる機会を提供することができた。 また、ふれあい・いきいきサロンや地域福祉活動団体などへの助成金の交付、相談支援を行い、交流の場の活性化を推進した。

基本理念	基本目標	施策の方向性	指標・数値目標							施策の方向性ごとの評価
					現状値a	目標値b	実績値c	進捗状況c/b	評価	
			指標	単位	令和元年度	令和7年度	令和7年度末	%	A80%以上 B70%以上 C60%以上 D60%未満	
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【3】安心して暮らしやすい地域づくり	(12)施設等の整備・充実	点検施設数	か所	21	21	21	100.0	A	地域の住民が集える場所について関係機関と情報共有を行い、ふれあい・いきいきサロンマップを作成し周知した。 また、本会が運営している各施設において、定期的に施設内外の点検を実施し、利用者の安全に務めた。
		(13)防災対策の充実	災害ボランティア講座	回	1	1	1	100.0	A	朝霞市総合防災訓練への出展し、防災に関する周知・啓発を行った。また、埼玉県主催のFEMA図上訓練に参加し、災害発生時から災害ボランティアセンター設置・運営までの流れや、関係機関との連携について情報共有を行い、災害対策の充実を図った。
			災害ボランティアセンター設置訓練	回	1	1	1	100.0	A	
			防災訓練の実施施設数	か所	21	21	21	100.0	A	
		(14)防犯対策の充実	子どもへの防犯教室	回	6	10	10	100.0	A	本会が運営している施設に防犯に関するポスター掲示や利用者にチラシを配布し、情報提供を行った。また、放課後児童クラブにおいて防犯教室を実施し、子どもたちの防犯意識の醸成を図った。
		(15)外出・移動の支援	車いすの貸出し	件	56	60	48	80.0	A	ケガや高齢の家族の旅行等で一時的に車いすが必要となるケースへの支援を実施した。車いす貸出の問い合わせが増加しているため、引き続き広報紙やSNS等で周知を行う。
		(16)住まいの確保等への支援	住居に関する相談件数	件	13	20	9	45.0	C	住まいに関する相談に対し、朝霞市の担当課、及び他市や他社協などの関係機関と連携し、手続きに同行するなど支援を行った。 また、住宅の確保が困難な人に対し、社会資源の情報提供や、必要に応じて制度の案内を行った。

資料3

第5期朝霞市地域福祉計画及び
地域福祉活動計画の概要について

1

計画の策定にあたって IP参照

♀ 地域住民の抱える課題が複雑化・複合化

少子高齢化

核家族の進行

生活様式の多様化

価値観の多様化

新型コロナウイルス
感染症の影響

8050問題

ダブルケア

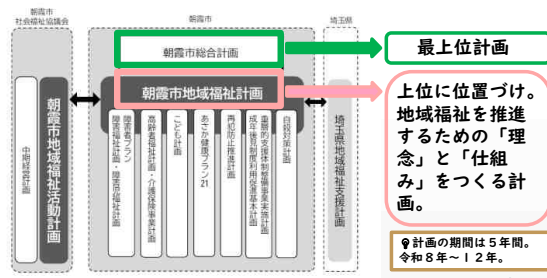
ヤングケアラー

多様化する支援ニーズに対応し、誰もが安心して地域で暮らしていくためには、行政だけでなく地域住民とも協働し、全市総ぐるみの地域福祉の推進が特に重要となっている。

2

計画の位置づけ (市) 2P参照

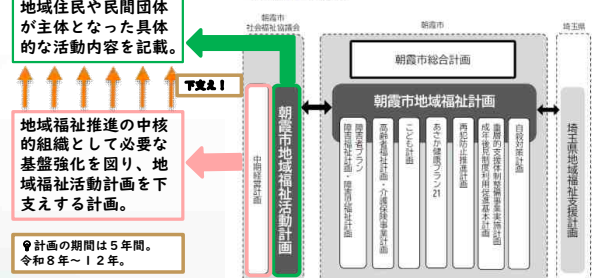
■第5期計画の位置付け



3

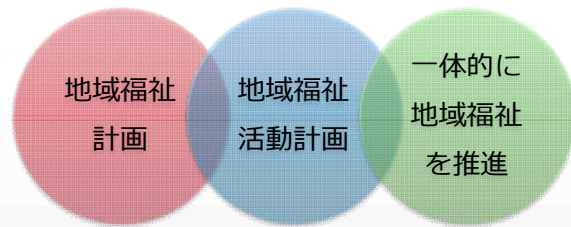
計画の位置づけ (社協) 2P参照

■第5期計画の位置付け



4

計画の位置づけ^{2P参照}



5

社会情勢の変化^{3P参照}

令和3年4月 重層的支援体制整備事業

令和7年5月 地域共生社会の在り方
検討会議

令和7年5月 全社協福祉ビジョン2025

6

施策の体系^{51P、98P参照}

基本理念 支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち

1 地域共生社会の構築		
(1) 地域共生社会に向けた重層的な支援体制の構築	(2) 地域福祉活動等への支援	(3) 地域福祉人材の発掘及び育成支援
2 誰もが互いに尊重し合い、共に生きる社会の実現		
(1) 相互理解の推進	(2) 権利擁護と尊厳の確保	(3) 社会参加とつながりづくりの支援
3 誰もが地域で暮らし続けられるための支援の充実		
(1) 相談支援体制の充実	(2) 生活困窮者等への支援充実	(3) 自立に向けた就労の支援
4 誰もが安心して生活できる支援の充実		
(1) 地域での見守り体制の充実	(2) 暮らしやすい住まいや移動手段の支援	(3) 安心して暮らせるまちづくりの推進

7

施策の体系①^{53P～、98P～参照}

基本理念 支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち

基本目標	方向性	主な施策	
		朝霞市	社会福祉協議会
1 地域共生社会の構築	(1) 地域共生社会に向けた重層的な支援体制の構築	◎重層的支援体制整備事業の構築 ◎地域包括ケアシステムの深化	◎コミュニティソーシャルワークの推進
	(2) 地域福祉活動等への支援	◎民生委員・児童委員の活動支援 ◎コミュニティ活動・市民活動の活性化	◎住民主体の地域福祉活動への支援 ◎地域福祉活動支援のための財源確保
	(3) 地域福祉人材の発掘及び育成支援	◎生活支援体制整備事業の推進 ◎認知症総合支援	◎ボランティア活動に関する理解の拡充

8

施策の体系② 66p～参照

基本理念 支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち

基本目標	方向性	主な施策	
		朝霞市	社会福祉協議会
2 誰もが互いに尊重し合い、共に生きる社会の実現	(1) 相互理解の推進	◎地域福祉への理解促進と地域交流の推進 ◎認知症への理解の促進	◎地域福祉に関する理解の拡充
	(2) 権利擁護と尊厳の確保	◎権利擁護の推進及び虐待やDVなどへの対応 ◎成年後見制度の周知及び利用促進	◎権利擁護事業の推進
	(3) 社会参加とつながりづくりの支援	◎地域で育む社会参加と共生の場づくり ◎多文化共生への理解の促進	◎地域住民の交流の活性化

9

施策の体系③ 78p～参照

基本理念 支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち

基本目標	方向性	主な施策	
		朝霞市	社会福祉協議会
3 誰もが地域で暮らし続けられるための支援の充実	(1) 相談支援体制の充実	◎属性に採われない相談体制の充実 ◎人権相談	◎包括的な相談支援の実施 ◎わかりやすい福祉情報の提供
	(2) 生活困窮者等への支援充実	◎生活困窮者等への支援	◎生活困窮者等への支援
	(3) 自立に向けた就労の支援	◎様々な働き方への支援	◎相談支援の促進

10

施策の体系④ 87p～参照

基本理念 支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち

基本目標	方向性	主な施策	
		朝霞市	社会福祉協議会
4 誰もが安心して生活できる支援の充実	(1) 地域での見守り体制の充実	◎避難行動要支援者制度など防災対策の充実 ◎地域で育む見守り体制の推進	◎住民主体の見守り活動の推進
	(2) 暮らしやすい住まいや移動手段の支援	◎住宅確保要配慮者等への支援 ◎市内循環バス等の利便性向上 ◎ペリアプリー・ユニバーサルデザインに配慮した環境の整備	◎住民主体の支え合い活動の推進
	(3) 安心して暮らせるまちづくりの推進	◎更生保護支援 ◎防犯活動の推進と情報発信 ◎各啓発運動への支援	

11

基本 目標	施策の方向性	市の主な施策		事業名	再	担当課	旧担当課	計画書 ページ
1 地域共生社会の構築	(1) 地域共生社会に向けた重層的な支援体制の構築	重層的支援体制整備事業の構築	1	重層的支援体制整備事業		地域共生社会課	福祉相談課	53
		地域包括ケアシステムの深化	2	地域包括ケアシステムの深化		地域共生社会課	長寿はつらつ課	54
			指標	重層的支援体制整備事業の構築		地域共生社会課		54
	(2) 地域福祉活動等への支援	民生委員・児童委員の活動支援	3	民生委員・児童委員の活動支援		高齢者・地域福祉課	福祉相談課	57
		コミュニティ活動・市民活動の活性化	4	コミュニティ活動の推進		地域づくり支援課	地域づくり支援課	58
			5	地域保健福祉活動振興事業費補助金		高齢者・地域福祉課	福祉相談課	58
			6	生活支援体制整備事業		地域共生社会課	長寿はつらつ課	58
			7	生涯学習啓発推進事業		生涯学習・スポーツ課	生涯学習・スポーツ課	58
			指標	地域福祉活動への参加段団体数 (地域保健福祉活動振興事業費補助金交付団体及び住民主体の通いの場の活動団体数)		高齢者・地域福祉課		58
	(3) 地域福祉人材の発掘及び育成支援	生活支援体制整備事業の推進	8	生活支援体制整備事業	再	地域共生社会課	長寿はつらつ課	62
		認知症総合支援	9	認知症サポーター養成講座		地域共生社会課	長寿はつらつ課	63
			指標	認知症サポーター数		地域共生社会課	長寿はつらつ課	63
2 誰もが互いに尊重し合い、共に生きる社会の実現	(1) 相互理解の推進	地域福祉への理解促進と地域交流の推進	10	地域福祉講演会の開催		地域共生社会課	福祉相談課	66
			11	障害者理解の促進		障害福祉課	障害福祉課	66
			12	園庭開放(いっしょにあそぼう保育園で)		保育課	保育課	66
		認知症への理解の促進	13	認知症への理解の促進		地域共生社会課	長寿はつらつ課	67
			指標	地域福祉講演会参加者数		地域共生社会課		67
	(2) 権利擁護と尊厳の確保	権利擁護の推進及び虐待やDVなどへの対応	14	障害者虐待の防止(障害者虐待防止センター)		障害福祉課	障害福祉課	70
			15	高齢者虐待の防止		地域共生社会課	長寿はつらつ課	70
			16	児童虐待の防止 児童相談所との連携		こども家庭課	こども家庭センター	70
			17	女性総合相談・DV相談		人権庶務課(女性センター)	人権庶務課(女性センター)	71
		成年後見制度の周知及び利用促進	18	成年後見制度の利用促進		障害福祉課・地域共生社会課	福祉相談課・障害福祉課・長寿はつらつ課	71
			指標	中核機関の設置		障害福祉課・地域共生社会課		71
	(3) 社会参加とつながりづくりの支援	地域で育む社会参加と共生の場づくり	19	生きがい活動支援事業		高齢者・地域福祉課	長寿はつらつ課	74
			20	こども・若者の居場所づくりの推進		こども未来課	こども未来課	74
		多文化共生への理解の促進	21	多文化共生への理解の促進		地域づくり支援課	地域づくり支援課	75
			指標	障害に関する啓発・広報活動件数		障害福祉課		75
3 誰もが地域で暮らし続けられる	(1) 相談支援体制の充実	属性に捉われない相談体制の充実	22	福祉の総合相談		地域共生社会課	福祉相談課	79
			23	妊娠・出産各包括支援事業		子ども家庭課	子ども家庭課	79
			24	学校に行きづらい児童生徒への支援の推進		教育指導課	教育指導課	79
		人権相談	25	人権相談		人権庶務課	人権庶務課	79
			指標	福祉の総合相談件数		地域共生社会課		79
	(2) 生活困窮者等への支援充実	生活困窮者等への支援	26	生活困窮者・世帯の自立支援		地域共生社会課・子ども未来課	福祉相談課・こども未来課	81
			27	生活保護における自立の助長		生活援護課	生活援護課	81
			28	教育費用の支援(①就学援助、②入学準備金及び奨学金貸付)		教育管理課	教育管理課	82
			指標	生活保護受給率		生活援護課		82

基本目標	施策の方向性	市の主な施策	事業名		再	担当課	旧担当課	計画書ページ
ための支援の充実	(3) 自立に向けた就労の支援	様々な働き方への支援	29	障害者就労支援センターの運営		障害福祉課	障害福祉課	84
			30	企業・創業の支援		産業振興課	産業振興課	84
			31	生活保護受給者への就労支援		生活援護課	生活援護課	84
			32	シルバー人材センターへの支援		高齢者・地域福祉課	長寿はつらつ課	84
			指標	新規就労者数(生活保護受給者、障害者、シルバー入会者の合計)		生活援護課		84
4 誰もが安心して生活できる支援の充実	(1) 地域での見守り体制の充実	避難行動要支援者支援制度など防災対策の充実	33	避難行動要支援者支援制度の推進		危機管理室、障害福祉課、地域共生社会課、高齢者・地域福祉課	危機管理室、福祉相談課、障害福祉課、長寿はつらつ課)	87
			34	防災意識の高揚		危機管理室	危機管理室	88
			35	地域包括支援センターの機能強化		地域共生社会課	地域共生社会課	88
		地域で育む見守り体制の推進	36	高齢者安心見守り支援事業	再	高齢者・地域福祉課	長寿はつらつ課	88
			37	妊娠・出産包括支援事業	再	こども家庭課	こども家庭センター	88
			指標	市が実施する見守りサービス利用者数		高齢者・地域福祉課、障害福祉課、地域共生社会課		88
	(2) 暮らしやすい住まいや移動手段の支援	住宅確保要配慮者等への支援	38	重度障害者住宅改善費補助金		障害福祉課	障害福祉課	91
			39	高齢者住宅の提供、住替え世帯の家賃補助、住宅改善費の補助		高齢者・地域福祉課	長寿はつらつ課	91
			40	住宅確保要配慮者への居住確保の促進		地域共生社会課、開発建築課	福祉相談課、開発建築課	92
		市内循環バス等の利便性向上	41	市内循環バス等の利用性向上		まちづくり推進課	まちづくり推進課	92
			42	重度心身障害者福祉タクシー利用料等の補助		障害福祉課	障害福祉課	92
			43	デマンド交通(タクシー補助)		まちづくり推進課	まちづくり推進課	92
		バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した道路空間の整備	44	バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した道路空間の整備		道路整備課	道路整備課	92
			指標	居住支援相談の満足度		地域共生社会課、開発建築課		92
	(3) 安心して暮らせるまちづくりの推進	更生保護支援	45	更生保護関係団体への支援、更生保護サポートセンターの支援、生活困窮者自立支援事業、更生保護活動支援事業		高齢者・地域福祉課	福祉相談課	94
			46	防犯情報の発信、防犯活動の推進		危機管理室	危機管理室	95
		各啓発運動への支援	47	社会を明るくする運動再犯防止に関する広報の推進 更生保護活動支援事業		高齢者・地域福祉課	福祉相談課	95
			48	青少年健全育成事業の推進と自主的活動の促進		こども未来課	こども未来課	95
			49	犯罪や薬物防止など、非行防止教室の実施		教育指導課	教育指導課	95
			指標	朝霞支部の保護司人数		高齢者・地域福祉課		95

事業の進捗について、「（３）評価参考数値等」だけに捉われることなく、評価年度に取り組んだ内容等から総合的に評価してください。
A：【非常に良い】十分な進捗（成果）があった B：【良い】進捗（成果）があった
C：【悪い】進捗（成果）があまりなかった D：【非常に悪い】進捗（成果）が不十分であった

第5期朝霞市地域福祉計画作業シート（案）

基本理念	基本目標	方向性	機構改革後担当課	主な施策	主な事業	（１）自己評価	（２）担当課の取り組み内容及び現状	（３）評価参考数値等	（４）今年度の活動に対する課題及び展開
			担当課 （旧 担当課）			A B C D	評価年度の取り組み内容を記載してください。	評価年度の取組みに関連する数値を記載してください。毎年度同じ数値である必要はありません。また、参考となる数値等がない場合は記載不要です。	評価年度の取り組みに対する課題と今度の展開を記載してください。
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【一】地域共生社会の構築	（１）地域共生社会に向けた重層的な支援体制の構築	地域共生社会課 （福祉相談課）	重層的支援体制整備事業の構築	重層的支援体制整備事業		（例） R8.4より重層的支援体制を開始した。R6年度以降ワーキンググループにて検討し、庁内への説明会を行った上での開始であったため、開始当初は大きな混乱もなく、関係各課との協働を行えた。	（例） 重層的支援体制整備事業研修会 ○回 支援会議開催数 ○回	（例） 開始前から関係各課への周知を行ってきたが、イメージが難しい部分もあり、まだ周知・活用ができていない部分もあるため、今後も関係機関・関係各課への周知と実践的に活動内容を示していくことが課題である。
			地域共生社会課 （長寿はつらつ課）	地域包括ケアシステムの深化	地域包括ケアシステムの深化				
		（２）地域福祉活動等への支援	高齢者・地域福祉課 （福祉相談課）	民生委員・児童委員の活動支援	民生委員・児童委員の活動支援				
			地域づくり支援課 （地域づくり支援課）		コミュニティ活動の推進				
			高齢者・地域福祉課 （福祉相談課）		地域保健福祉活動振興事業費補助金				
			地域共生社会課 （長寿はつらつ課）	コミュニティ活動・市民活動の活性化	生活支援体制整備事業				
			生涯学習・スポーツ課 （生涯学習・スポーツ課）		生涯学習啓発推進事業				
			地域共生社会課 （長寿はつらつ課）		生活支援体制整備事業（再掲）				
		（３）地域福祉人材の発掘及び育成支援	地域共生社会課 （長寿はつらつ課）	認知症総合支援	認知症サポーター養成講座				
			地域共生社会課 （長寿はつらつ課）						

基本理念	基本目標	方向性	機構改革後担当課	主な施策	主な事業	(1) 自己評価	(2) 担当課の取り組み内容及び現状	(3) 評価参考数値等	(4) 今年度の活動に対する課題及び展開
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【2】誰もが互いに尊重し合い、共に生きる社会の実現	(1) 相互理解の推進	地域共生社会課 (福祉相談課)	地域福祉への理解促進と地域交流の推進	地域福祉講演会の開催				
			障害福祉課 (障害福祉課)		障害者理解の促進				
			保育課 (保育課)		園庭開放（いっしょにあそぼう保育園で）				
			地域共生社会課 (長寿はつらつ課)	認知症への理解の促進	認知症への理解の促進				
		(2) 権利擁護と尊厳の確保	障害福祉課 (障害福祉課)	権利擁護の推進及び虐待やDVなどへの対応	障害者虐待の防止 (障害者虐待防止センター)				
			地域共生社会課 (長寿はつらつ課)		高齢者虐待の防止				
			こども家庭課 (こども家庭センター)		児童虐待の防止 児童相談所との連携				
			人権庶務課（女性センター） (人権庶務課〔女性センター〕)		女性総合相談・DV相談				
			地域共生社会課、障害福祉課 (福祉相談課、障害福祉課、長寿はつらつ課)	成年後見制度の周知及び利用促進	成年後見制度の利用促進				
		(3) 社会参加とつながりづくりの支援	高齢者・地域福祉課 (長寿はつらつ課)	地域で育む社会参加と共生の場づくり	生きがい活動支援事業				
			こども未来課 (こども未来課)		こども・若者の居場所づくりの推進				
			地域づくり支援課 (地域づくり支援課)	多文化共生への理解の促進	多文化共生への理解の促進				

基本理念	基本目標	方向性	機構改革後担当課	主な施策	主な事業	(1) 自己評価	(2) 担当課の取り組み内容及び現状	(3) 評価参考数値等	(4) 今年度の活動に対する課題及び展開
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【3】誰もが地域で暮らし続けられるための支援の充実	(1) 相談支援体制の充実	地域共生社会課 (福祉相談課)	属性に捉われない相談体制の充実	福祉の総合相談				
			こども家庭課 (子ども家庭課)		妊娠・出産包括支援事業				
			教育指導課 (教育指導課)		学校に行きづらい児童生徒への支援の推進				
			人権庶務課 (人権庶務課)	人権相談	人権相談(再掲)				
		(2) 生活困窮者等への支援充実	地域共生社会課、こども未来課 (福祉相談課、こども未来課)	生活困窮者等への支援	生活困窮者・世帯の自立支援				
			生活援護課 (生活援護課)		生活保護における自立の助長				
			教育管理課 (教育管理課)		教育費用の支援(①就学援助、②入学準備金及び奨学金貸付)				
		(3) 自立に向けた就労の支援	障害福祉課 (障害福祉課)	様々な働き方への支援	障害者就労支援センターの運営				
			産業振興課 (産業振興課)		起業・創業の支援				
			生活援護課 (生活援護課)		生活保護受給者への就労支援				
			高齢者・地域福祉課 (長寿はつらつ課)		シルバー人材センターへの支援				

基本理念	基本目標	方向性	機構改革後担当課	主な施策	主な事業	(1) 自己評価	(2) 担当課の取り組み内容及び現状	(3) 評価参考数値等	(4) 今年度の活動に対する課題及び展開
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【4】誰もが安心して生活できる支援の充実	(1) 地域での見守り体制の充実	危機管理室、地域共生社会課、障害福祉課、高齢者・地域福祉課（危機管理室、福祉相談課、障害福祉課、長寿はつらつ課）	避難行動要支援者支援制度の充実	避難行動要支援者支援制度の推進				
			危機管理室（危機管理室）		防災意識の高揚				
			地域共生社会課（長寿はつらつ課）		地域包括支援センターの機能強化				
			高齢者・地域福祉課（長寿はつらつ課）	地域で育む見守り体制の推進	高齢者安心見守り支援事業（再掲）				
			こども家庭課（こども家庭センター）		妊娠・出産包括支援（再掲）				
		(2) 暮らしやすい住まいや移動手段の支援	障害福祉課（障害福祉課）	住宅確保要配慮者等への支援	重度障害者住宅改善費補助金				
			高齢者・地域福祉課（長寿はつらつ課）		高齢者住宅の提供、住替え世帯の家賃補助、住宅改善費の補助				
			地域共生社会課、開発建築課（福祉相談課、開発建築課）		住宅確保要配慮者への居住確保の促進				
		(3) 安心して暮らすまちづくりの推進	高齢者・地域福祉課（福祉相談課）	更生保護支援	更生保護関係団体への支援、更生保護サポートセンターへの支援、生活困窮者自立支援、更生保護活動支援事業				
			危機管理室（危機管理室）	防犯活動の推進と情報発信	防犯情報の発信、防犯活動の推進				
			高齢者・地域福祉課（福祉相談課）	各啓発運動への支援	社会を明るくする運動 再犯防止に関する広報の推進 更生保護活動支援事業				
			こども未来課（こども未来課）		青少年健全育成事業の推進と自主的活動の促進				
			教育指導課（教育指導課）		犯罪や薬物防止など、非行防止教室の実施				

第5期地域福祉活動計画作業シート(案)

A:【非常に良い】十分な進捗(成果)があった
B:【良い】進捗(成果)があった
C:【悪い】進捗(成果)があまりなかった
D:【非常に悪い】進捗(成果)が不十分であった

基本理念	基本目標	施策の方向性	主な施策	主な事業	指標	目標値 (令和12年度)	(1)自己評価	(2)取り組み内容及び現状	(3)評価参考数値等	(4)今年度の活動に対する課題及び展開
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【1】地域共生社会の構築	(1)地域共生社会に向けた重層的な支援体制の構築	コミュニティソーシャルワークの推進	多様な機関との連携体制の構築	連携会議への参加回数	100件				
				地域情報の把握	地域アセスメントの実施	6地区				
				コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の周知・啓発	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)が対応した相談件数	120件				
		(2)地域福祉活動等への支援	住民主体の地域福祉活動への支援	福祉活動団体等への支援	福祉活動団体等からの相談件数	300件				
				福祉活動団体間の交流事業の実施	福祉活動団体間の交流事業の実施回数	2回				
			地域福祉活動支援のための財源確保	募金活動の促進	募金実績額	10,500,000円				
		(3)地域福祉人材の発掘及び育成支援	ボランティア活動の推進	ボランティア活動に参加しやすい環境の整備	ボランティア相談件数	延べ200件				
				ボランティア活動の場の提供	ボランティア活動受入施設・団体数	45か所				
				ボランティア講座の開催	ボランティアに関する講座・講習会の開催回数	8回				
				災害ボランティアセンターの体制整備	災害ボランティアに関する講座・訓練の開催回数	1回				
				地域の支え合い活動の推進	“住民参加型”在宅福祉サービス(あいはあと事業)の活動登録者数	80人				
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【2】誰もが互いに尊重し合い、共に生きる社会の実現	(1)相互理解の推進	地域福祉に関する理解の拡充	福祉教育の推進	福祉教育実施回数	150回				
				教職員等を対象とした研修会の実施	研修会の満足度	90%				
				出前講座の実施	出前講座実施回数	24回				
		(2)権利擁護と尊厳の確保	権利擁護事業の推進	権利擁護に関する周知・啓発	成年後見制度に関する周知・啓発回数	29回				
				法人後見事業の実施	受任件数	7件				
				福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)の実施	福祉サービス利用援助事業の利用人数	12人				
		(3)社会参加とつながりづくりの支援	地域住民の交流の活性化	住民主体の交流機会への支援	住民主体の活動に関する相談支援件数	延べ150件				
				交流機会の提供	地域住民の交流事業の実施回数	30回				

第5期地域福祉活動計画作業シート(案)

A:【非常に良い】十分な進捗(成果)があった
B:【良い】進捗(成果)があった
C:【悪い】進捗(成果)があまりなかった
D:【非常に悪い】進捗(成果)が不十分であった

基本理念	基本目標	施策の方向性	主な施策	主な事業	指標	目標値 (令和12年度)	(1)自己評価	(2)取り組み内容及び現状	(3)評価参考数値等	(4)今年度の活動に対する課題及び展開
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【3】誰もが地域で暮らし続けられるための支援の充実	(1)相談支援体制の充実	包括的な相談支援の実施	包括的な相談支援体制の充実	総合相談窓口の相談件数	50件				
				福祉に関する相談会の開催	相談会実施回数	20回				
			分かりやすい福祉情報の提供	様々なツールを活用した情報の発信	福祉情報の提供回数	3,500回				
		(2)生活困窮者等への支援充実	生活困窮者等への支援	生活再建のための相談支援	生活困窮に関する相談支援件数	300件				
				生活困窮者等への支援	生活困窮者等への支援件数	80件				
		(3)自立に向けた就労の支援	相談支援の促進	包括的な相談支援体制の充実(再掲)	総合相談窓口の相談件数	50件				
	【4】誰もが安心して生活できる支援の充実	(1)地域での見守り体制の充実	住民主体の見守り活動の推進	小地域福祉活動における見守り体制の推進	見守り活動の周知・啓発回数	20回				
				地域の支え合い活動の推進(再掲)	“住民参加型”在宅福祉サービス(あいはあと事業)の利用件数	140件				
		(2)暮らしやすい住まいや移動手段の支援	住民主体の支え合い活動の推進	地域の支え合い活動の推進(再掲)	“住民参加型”在宅福祉サービス(あいはあと事業)の利用件数	140件				
		(3)安心して暮らせるまちづくりの推進								

事業の進捗について、「(3)評価参考数値等」だけに捉われることなく、評価年度に取組んだ内容等から総合的に評価してください。

A:【非常に良い】十分な進捗(成果)があった B:【良い】進捗(成果)があった C:【悪い】進捗(成果)があまりなかった

D:【非常に悪い】進捗(成果)が不十分であった

第5期朝霞市地域福祉計画 進行管理・評価シート（案）

基本理念	基本目標	施策の方向性	指標	担当課	目標値	(1) 自己評価	(2) 担当課の取り組み内容及び現状	(3) 評価参考数値等	(4) 今年度の活動に対する課題及び展開
						A B C D	評価年度の取り組み内容を記載してください。	評価年度の取組みに関連する数値を記載してください。毎年度同じ数値である必要はありません。また、参考となる数値等がない場合は記載不要です。	評価年度の取り組みに対する課題と今度の展開を記載してください。
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【1】地域共生社会の構築	(1) 地域共生社会に向けた重層的な支援体制の構築	重層的支援体制整備事業の構築	地域共生社会課	整備	B	(例) 既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施できるよう整備し、属性・世代を問わない相談・地域づくりに取り組む。	(例) 重層的支援体制整備事業研修会 ○回 支援会議開催数 ○回	(例) 開始前から関係各課への周知を行ってきたが、イメージが難しい部分もあり、まだ周知・活用ができていない部分もあるため、今後も関係機関・関係各課への周知と実践的に活動内容を示していくことが課題である。
		(2) 地域福祉活動等への支援	地域福祉活動への参加団体数（地域保健福祉活動振興事業費補助金交付団体及び住民主体の通いの場の活動団体数）	高齢者・地域福祉課	233団体				
		(3) 地域福祉人材の発掘及び育成支援	認知症サポーター数	地域共生社会課	9,900人				
	【2】誰もが互いに尊重し合い、ともに生きる社会の実現	(1) 相互理解の推進	地域福祉講演会参加者数	地域共生社会課	200人				
		(2) 権利擁護と尊厳の確保	中核機関の設置	地域共生社会課	設置				
		(3) 社会参加とつながりづくりの支援	障害に関する啓発・広報活動件数	障害福祉課	80件				

事業の進捗について、「（３）評価参考数値等」だけに捉われることなく、評価年度に取り組んだ内容等から総合的に評価してください。
A：【非常に良い】十分な進捗（成果）があった B：【良い】進捗（成果）があった C：【悪い】進捗（成果）があまりなかった
D：【非常に悪い】進捗（成果）が不十分であった

第5期朝霞市地域福祉計画 進行管理・評価シート（案）

基本理念	基本目標	施策の方向性	指標	担当課	目標値	（１）自己評価	（２）担当課の取り組み内容及び現状	（３）評価参考数値等	（４）今年度の活動に対する課題及び展開
						A B C D	評価年度の取り組み内容を記載してください。	評価年度の取り組みに関連する数値を記載してください。毎年度同じ数値である必要はありません。また、参考となる数値等がない場合は記載不要です。	評価年度の取り組みに対する課題と今度の展開を記載してください。
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【３】誰もが地域で暮らし続けられるための支援の充実	（１）相談支援体制の充実	福祉の総合相談件数	地域共生社会課	1, 200件				
		（２）生活困窮者への支援充実	生活保護受給率	生活援護課	1.36%				
		（３）自立に向けた就労の支援	新規就労者数（生活保護受給者、障害者、シルバー入会者の合計）	生活援護課	359人				
	【４】誰もが地域で暮らし続けられるための支援の充実	（１）地域での見守り体制の充実	市が実施する見守りサービス利用者数（高齢者・障害者・その他）	高齢者・地域福祉課 障害福祉課 地域共生社会課	962件				
		（２）暮らしやすい住まいや移動手段の支援	居住支援相談の満足度	地域共生社会課	100%				
		（３）安心して暮らせるまちづくりの推進	朝霞支部の保護司人数	高齢者・地域福祉課	27人				

第5期地域福祉活動計画進行管理・評価シート(案)

A:【非常に良い】十分な進捗(成果)があった
B:【良い】進捗(成果)があった
C:【悪い】進捗(成果)があまりなかった
D:【非常に悪い】進捗(成果)が不十分であった

資料6-2

基本理念	基本目標	施策の方向性	主な施策	主な事業	指標	目標値 (令和12年度)	(1)自己評価	(2)取り組み内容及び現状	(3)評価参考数値等	(4)今年度の活動に対する課題及び展開		
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【1】地域共生社会の構築	(1)地域共生社会に向けた重層的な支援体制の構築	コミュニティソーシャルワークの推進	多様な機関との連携体制の構築	連携会議への参加回数	100件						
				地域情報の把握	地域アセスメントの実施	6地区						
				コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の周知・啓発	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)が対応した相談件数	120件						
		(2)地域福祉活動等への支援	住民主体の地域福祉活動への支援	福祉活動団体等への支援	福祉活動団体等からの相談件数	300件						
				福祉活動団体間の交流事業の実施	福祉活動団体間の交流事業の実施回数	2回						
			地域福祉活動支援のための財源確保	募金活動の促進	募金実績額	10,500,000円						
		(3)地域福祉人材の発掘及び育成支援	ボランティア活動の推進	ボランティア活動に参加しやすい環境の整備	ボランティア相談件数	延べ200件						
				ボランティア活動の場の提供	ボランティア活動受入施設・団体数	45か所						
				ボランティア講座の開催	ボランティアに関する講座・講習会の開催回数	8回						
				災害ボランティアセンターの体制整備	災害ボランティアに関する講座・訓練の開催回数	1回						
				地域の支え合い活動の推進	“住民参加型”在宅福祉サービス(あいはあと事業)の活動登録者数	80人						
		支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【2】誰もが互いに尊重し合い、共に生きる社会の実現	(1)相互理解の推進	地域福祉に関する理解の拡充	福祉教育の推進	福祉教育実施回数	150回				
						教職員等を対象とした研修会の実施	研修会の満足度	90%				
						出前講座の実施	出前講座実施回数	24回				
				(2)権利擁護と尊厳の確保	権利擁護事業の推進	権利擁護に関する周知・啓発	成年後見制度に関する周知・啓発回数	29回				
法人後見事業の実施	受任件数					7件						
福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)の実施	福祉サービス利用援助事業の利用人数					12人						
(3)社会参加とつながりづくりの支援	地域住民の交流の活性化			住民主体の交流機会への支援	住民主体の活動に関する相談支援件数	延べ150件						
				交流機会の提供	地域住民の交流事業の実施回数	30回						

第5期地域福祉活動計画進行管理・評価シート(案)

A:【非常に良い】十分な進捗(成果)があった
B:【良い】進捗(成果)があった
C:【悪い】進捗(成果)があまりなかった
D:【非常に悪い】進捗(成果)が不十分であった

資料6-2

基本理念	基本目標	施策の方向性	主な施策	主な事業	指標	目標値 (令和12年度)	(1)自己評価	(2)取り組み内容及び現状	(3)評価参考数値等	(4)今年度の活動に対する課題及び展開
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	【3】誰もが地域で暮らし続けられるための支援の充実	(1)相談支援体制の充実	包括的な相談支援の実施	包括的な相談支援体制の充実	総合相談窓口の相談件数	50件				
				福祉に関する相談会の開催	相談会実施回数	20回				
			分かりやすい福祉情報の提供	様々なツールを活用した情報の発信	福祉情報の提供回数	3,500回				
		(2)生活困窮者等への支援充実	生活困窮者等への支援	生活再建のための相談支援	生活困窮に関する相談支援件数	300件				
				生活困窮者等への支援	生活困窮者等への支援件数	80件				
		(3)自立に向けた就労の支援	相談支援の促進	包括的な相談支援体制の充実(再掲)	総合相談窓口の相談件数	50件				
	【4】誰もが安心して生活できる支援の充実	(1)地域での見守り体制の充実	住民主体の見守り活動の推進	小地域福祉活動における見守り体制の推進	見守り活動の周知・啓発回数	20回				
				地域の支え合い活動の推進(再掲)	“住民参加型”在宅福祉サービス(あいはあと事業)の利用件数	140件				
		(2)暮らしやすい住まいや移動手段の支援	住民主体の支え合い活動の推進	地域の支え合い活動の推進(再掲)	“住民参加型”在宅福祉サービス(あいはあと事業)の利用件数	140件				
		(3)安心して暮らせるまちづくりの推進	掲載なし							

今後のスケジュールについて

年 度	日 程	内 容
令和8年度	(本日) 7/28(火)	令和8年度第1回朝霞市地域福祉計画・活動計画推進委員会 ・委嘱状交付、自己紹介 ・委員長・副委員長の選定 ・第4期計画の評価(報告) ・第5期計画の概要について ・第5期評価方法、今後スケジュールについて
	8月末	令和8年度第1回朝霞市地域福祉を推進する庁内検討委員会 ・評価方法について
	11月頃	令和8年度第2回朝霞市地域福祉・活動計画推進委員会 ・進捗状況について ・その他
	3月中旬～	各担当課による評価シートの作成
令和9年度	4月中旬～	評価シートの取りまとめ
	5月下旬	令和9年度第1回朝霞市地域福祉計画・活動計画推進委員会 ・評価について審議